

コスモスの架け橋

～コスモスしえんだより～

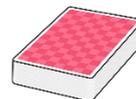
和歌山県立紀伊コスモス支援学校

支援教育部 令和6年度 12月



外国語（英語）の授業で使用した教材の紹介

Go Fish



「Go fish」というカードゲームを使用して、取り組んだ外国語（英語）の授業実践を紹介します。ゲームはトランプのババ抜きの変種で進めます。今回紹介する「Go fish」は月（1月、2月等）の名称を楽しく覚えるために取り組んだものですが、数字や曜日、身近な名詞や動詞等でも応用して取り組める教材だと思います。

対象生徒・学習のねらい

対象は中学部のアルファベットが書ける、1～100までを英語で表現できる生徒たちでした。月の名称を知ること、月の名称を英語で表現することをねらいとして取り組みました。

生徒の反応

「今日は体調悪いので、見学します。」と参加しなかった生徒が友だちの和気藹々と学習する様子を見て、「やってみようかな!」と参加する姿が見られました。4～5名でゲームをすればカードの回りも早く、「Do you have March?」等と月の名称を英語で言う、耳にする機会が自然と増えます。初めは教師の見本の後でないと英語で表現できない生徒たちでしたが、ゲームとして楽しみ親しむことで、「November」、「December」とスラスラ発音できるようになりました。



Go fish ゲーム のルール

- ① 配られたカードから、同じ絵のカードを捨てる
- ② 欲しいカードを持っているか、他の人に聞く

「Do you have ~?」

- ③ 聞かれたカードがあったらカードを渡す 「Yes」 → カードをペアにして、捨てる

聞かれたカードがなかったら

「No」 → 聞いた人が、カードを引く



カードがなくなったら、勝ち!